

# わが社のPolicy



清川メッキ工業株式会社  
常務取締役 清川 忠幸さん

「自由なる創意の結果が大いなる未来を拓く」がわが社の理念。人真似ではない独自の発想と技術で業界をリードし、時代を拓いてきました。こうした先端技術の開発と同時に、高品質を安定して量産できるシステムを確立。材料、消費電力、廃棄物の削減に努めるなど環境にも配慮し、各種認定を取得してめっき業界のイメージアップも図っています。今後もめっき技術を通して、人々の豊かな暮らしに貢献したいと願っています。また新たな分野として、植物工場で野菜の栽培を始めました。栽培養液の分析などでめっき技術が活かされています。発想が豊かでチャレンジ精神旺盛な方、ぜひわが社で力を発揮してください。

## 清川メッキ工業株式会社

本社：福井市和田中1-414  
設立：1968年11月  
代表者：代表取締役社長 清川 肇  
事業内容：電子部品・半導体へのめっき加工  
資本金：4,000万円  
従業員：220名  
☎0776-23-2912



<http://www.kiyokawa.co.jp/>



# 清川メッキ工業株式会社

きらり★企業20選

「日本の技術で暮らしに貢献する  
日本で一番大切にしたい会社」



福井大学  
高ヶ内 剛志さん



社員は、創意工夫と責任感を持って意欲的に仕事に取り組んでいます。会社が受験料を出して資格取得を奨励しており、作業にかかわる社員の7割近くが国家資格を取得し、全国の技術や技能を競う大会でも好成績を取っています。

育児休暇も取りやすく、休暇後もほとんどが復帰。子育て支援の社内講座も開催しており、平成21年には県の「父親子育て応援企業 知事表彰」を受賞しました。他社に先駆けて環境ISO取得にもいち早く取り組んでいます。レクリエーション活動も盛んで、ヨサコイ、マラソン、ソフトボールの大会に参加したり、家族を招いての感謝祭や、忘年会、研修旅行などを毎年行っています。

こうしたことを評価いただき、第5回日本いちばん大切にしたい会社大賞にも選ばれました。

Q 会社について、働く環境はどうですか



製品を安定して供給すると同時に、新しい技術の開発も重要。大量生産に至る前には、数々の試作が繰り返されています。お客様の要望に応じ、基本的に1個ずつ手作業で作ります。条件や扱う素材によってその都度やり方も違うので、難しいけれどやりがいがあります。大学でめっきの勉強をしたのですが、実際現場に出ると知らないことがいっぱい。先輩方に教えてもらいながら、頑張っています(技術部 見附正浩さん)



Q 先輩方はどのような仕事をしていますか

製品の品質を確認するために、めっき液の濃度がきちんと保たれているか常にチェックする必要があります。約500もある槽からサンプル



Q 『ナノめっき』って何ですか？

マイクロの千分の1というナノ単位のものにめっきするのです。粉体へのめっきも可能で、粉末の素地とめっきの種類を組み合わせ、未知の素材も開発できます。世界で初めて0.6ミクロンの粉体へめっきすることにも成功しました。こうした話をする時、めっきは限られた分野のことと思われがちですが、例えばフライパンやアイロンなど暮らしの身近なところでも役に立っています。



Q 御社のめっき加工について教えてください

めっきには①錆を防ぐ②きれいにする③機能を高めるという役割があります。わが社のめっきはこの中で「機能を高める」ことに特化しています。例えば携帯電話などの基盤や小さな電子部品、半導体などを高密度で繋ぎ合わせる際に、わが社のめっき技術が活かされています。ネオジムにめっきを施して磁石機能を長期間保証したものは、自動車やパソコンなどの部品に多数使われています。また近年は、「ナノめっき技術」が注目を集めています。

## 清川メッキ工業の

ココがすごい!

### 1 数々の受賞歴

内閣総理大臣表彰「第1回もつくり日本大賞」、経済産業省選定「第1回元気なモノ作り中小企業300社」、2015年「福井県科学技術大賞」など、数々の賞を受賞。

### 2 環境保全に貢献

ISO9001とISO14001(さらにASRPを世界初受賞)、ISO/IEC17025といった国際規格を認定取得。環境に配慮しためっき業界のイメージアップにも貢献。

### 3 教育に貢献

未来を担う子どもたちに、ものづくりの楽しさとめっきの面白さを体験してもらおうと、「KIYOKAWA WAめっき教室」を開催。ホームページではマスコットキャラクター「めっきのついで」の特長をわかりやすく紹介。



## 取材 Report



「めっき」といってもなかなかピンとこない技術でしたが、驚くことにその技術は私たちの生活のすぐそばにあって、様々な製品のなかで広く役立っていることを知りました。錆や塗装から、スマートフォンやパソコンに至るまで、世界の製品を支える技術に、きらりと光るものを感じました。また、自分たちの技術を広く知ってもらおうと、積極的にめっき教室や企業見学を行っているそう。地域と共にあろうとするその姿に、とても好感を抱きました。

